

理研 CDB と大塚製薬との連携センターを開設

2016年9月1日

理研 CDB は、大塚製薬株式会社と連携して研究開発を行う拠点として、「理研 CDB-大塚製薬連携センター (CDB-Otsuka Pharmaceutical Collaboration Center : COCC)」を9月1日付でCDB内に開設した。両者がこれまで進めてきた独創的な研究を融合し、発展させることで、発生・再生分野における疾患メカニズムの探索と創薬への応用を目指す。

理研では近年、産業界との連携強化を目的とした「連携センター」設置を推進しており、本センターもこの制度を利用して設置された。中・長期的な連携を予定しており、当面は、神経変性疾患および腎疾患をテーマに具体的な研究課題を設定する方針。なお、センター長は、濱田博司 CDB センター長が務める。

